
あいらぶゆー？

綾香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あいらぶゆー？

【Nコード】

N4436B

【作者名】

綾香

【あらすじ】

貴方のこと、時々今すぐ抱きつきたいほど好きになるときがある。でもたまに、殺したくなるような、のろってやりたくなるように、無性になるときがあるの。これは一種の精神病だって医者は言うけど、こんな複雑な私、貴方は受けとめてくれる??

プロローグ

愛してる、でもあいしてない。

この微妙な貴方への気持ち。

あなたは受け止めてくれる??

あいらぶゆー?

キャスト

田中清羅	/ /	k i y o r a t a n a k a
廣野啓太	/ /	k e i t a h i r o n o

ブログ（後書き）

なるべく1日に一回は更新していくつもりです。未熟者な私ですが、どうか完結するまで見守ってくれると嬉しいですね。感想などありましたらぜひお願いします。

第1話 狂った愛

あたしの壊れた恋愛感情が芽生え始めたのは14歳の春。

中学2年生で、本当に愛していた彼に、

今までは遊びだった、おまえにはもう飽きた。

そんなことを言われて、私の歯車は確実にずれはじめていた。

それでも私は本気で人を好きになってしまっ。

また、飽きたといわれて捨てられる気がするのに。

向こうは本気で私を愛していないんじゃないかと思うのに。

こりずにまた相手を信じて本気で愛してしまうの。

でも、私はどこか狂っている。

本当に本当に愛している、と思うときがあるのに、

2日後には殺してやりたいと思う。

別に喧嘩も何も、会話さえしていなくても。

無性に呪いたくなる。

でもそのまた2日後には今すぐ一緒にベットに入りたくなくなるくらい、大好きになる。

そんな狂ってる愛。

病院に行くと、医者は一種のストレス性精神病といった。

なにか大きなショックが、苦しみが、

1度に押し寄せるとおこる病氣らしい。

日常に支障はないが、よほどに心の広い相手ではなくちゃ、

嗚呼、私は一生結婚なんて出来ない。

第二話 廣野啓太

そして今、私が愛しているのは、5組の廣野啓太君。

愛したときはいつも思っけれど、

この人なら絶対に裏切らない気がする。

私を本当に愛してくれる気がする。

私の病気を・・・・・・・・認めてくれる気がするの。

こんな虚しい気持ちなら抱かないほうがいいのに。

でも、啓太君なら。。。

啓太君は今まで私の愛してきた人たちとはタイプがずいぶん違う。

今まで愛してきた男の人たちは、

すごく切実そうで、まじめなクールな人が、

優しいそうで、みるからに爽やかな楽しい人かのどちらか。

でも啓太君は、不良で、ちょっと怖くて、いかにも軽そうな人。

耳に、口に、鼻にピアスはしてるし、

学校には週1回か2回でるのがいいトコだった。

私は啓太君が学校に来るのが、すごくすごく楽しみで仕方がなくて、

いつも昇降口で啓太君が来るのを待つ。

啓太君、気づいてるかな??

学校にくるときいつも昇降口にたってる私に。

私をすこしは覚えていてくれるかな??

少しは、そう思いたいよ……。

「いいえ！いいいです、いいです、ぜひ！」

「ねえ。」

「はい？」

「田中って俺のこと、嫌いなん？？」

「へ？ち、ちがう、むしろ……。」

「ねえ……俺と付き合ってよ。」

「へ……？」

第4話 認めてくれた彼

まさか・・・聞き間違いじゃないよね!?

「だめ?」

「よ、喜んで・・・。。。」

「まぢぢ?うれしい!」

遊びじゃないよ・・・ね?

「じゃあ、今日遊ぼ。」

「は・・・い。」

きよ、今日遊ぶことになった・・・。。。

でも・・・病気のこといわなくちゃ。

「あ、田中！……」

「ああ、啓太君。」

「どこ行くー??」

「言わなきゃ、言わなきゃ。」

「啓太君、実は……」

それから私はもくもくと喋った。

啓太君は、黙って聞いていた。

「やっぱ……だめなのかな??」

「そんなこと、俺が気にするとも思っただの??」

「……」

「そんなこと、俺気にしないよ。ねっ?」

「……」

よかった、啓太君は、私の思ったとおりの人だった。

啓太君となら、うまくやっていける気がする……
……
……
……
……
……
……
……
……
……

第5話 本当の幸せ

4年後

私はまだ啓太君と付き合っている。

こんな精神病の私でも、やっと手に入れられた幸せ。

そしてそれを認めてくれた彼。

精神病の方も、良い方向に向かっている。

医者が出すには、ストレスが薄れてきたから。

これもきつと啓太君のおかげ。

不良で、でも優しく、心が広い。

そんな私の自慢の彼。

私は今、本当の幸せを手に入れた……………。

E
N
D

第5話 本当の幸せ（後書き）

はい、ごめんなさい。

わかっているとありますが無理やり終わらせました。

5話で終わる連載小説なんて見たことない・・・。

でも、新しい連載小説のネタを思いついてしまって・・・。

すみません><

でも、そちらの小説の方に期待してくれるとうれしいです。

こんな小説でもおもしろいなどと思ってくれたら幸いです。

感想などお待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4436b/>

あいらぶゆー？

2010年10月28日07時56分発行